

文教福祉常任委員会

委員長 山川 恒雄

◆付託議案の審査結果報告

9月定例会で当委員会が付託を受けました4議案の審査を行うため、9月5日と19日の2日間にわたり委員会を開きました。

慎重審議の結果は、3議案については、いずれも原案どおり「可決すべきもの」と決定しました。

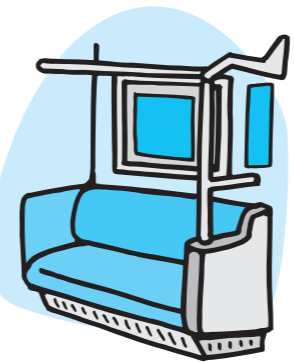
なお、高島市今津弘川運動公園の設置および管理に関する条例案は、プールとテニスコートの指定管理者制度の導入と使用料の見直しをするための条例案であり、特に2日間にわたり慎重に審査を行いました。プールについては、当初、今津中学校が利用する施設として建設された経緯があり、また利用実態については今津中学校の授業やクラブ活動に相当

◆強風対策・ダイヤ等の改善を求め、JRへ要望!

JRへ要望!

9月10日に開催した委員会は、7月5日に実施したJR西日本京都支社への要望活動の報告と今後の活動等について協議しました。

- ① 強風対策と運休時等の迅速・的確な情報提供
- ② 新快速電車等の増便、利便性の向上
- ③ 通勤・通学時間帯の利便性の向上
- ④ 駅施設の改善・整備



④エレベーター設置は、乗降客数5千人のラインがあり難しい。等、到底満足のできる内容ではなく、今後も市民の皆様のご支援を得て粘り強く要望をしていきます。

委員長 里田 治

交通対策特別委員会

予算特別委員会

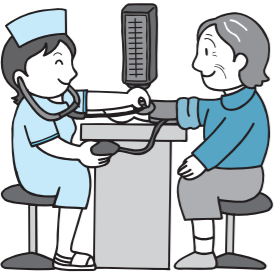
委員長 駒井 芳彦

◆付託議案の審査結果報告

9月18日に委員全員出席のもと、平成19年度一般会計、特別会計および事業会計にかかる補正予算の審査を行いました。

一般会計では、教育施設の修繕等の教育費は一定計上されているものの、18年度からの繰越金が8億7千万円強見込めることから、基金に7億4千万円強を入れてあり、市民の要望を少しでも実現すべきであるとの指摘がありました。

主なものでは、介護施設整備に5千万円、病院の負担金4千3百万円、住宅リフォーム促進事業1千万円、集



高島病院対策特別委員会

委員長 柴原 忍

9月10日に「経営と施設のあり方」について、委員会を開会しました。

執行部より、平成18年度病院事業決算報告と平成18年度に策定された公立高島総合病院整備基本構想についての説明を受けました。

委員会では、単年度収支は改善しているが累積赤字の解消方策、市外流出による患者減少対策、建設スケジュールおよび財源対策等について説明を求めました。

これについて、経費の削減、医療収益の増加により、本年度も1億6千万円の赤字縮小を目標としている。開業医との連携を深め、病院の役割(二次医療)を明確にする。市民に対して診療体制を明確にし、安心して受診していただけるようにする。

医師・看護師の確保を行うとともに看護師補助者を入れて業務改善を行っている。平成22年着工を目標に本年度に基本計画を策定する中で財源確保を図っていきたいとのことでありました。

今後この基本計画に、開会中、閉会中を問わず、調査研究を行うとともに市民の意見を反映させていきたいと考えています。

委員長 大森 六己

響庭野基地対策特別委員会

9月7日に開催した

当委員会では、当月に実施された防衛省の組織改編について執行部より説明を受けました。今回の改編で、防衛省内部部局に地方公共団体および地域住民の理解・協力を確保することを目的に地方協力が新設され、また大阪防衛施設局も近畿中部

防衛局となりました。このことにより、地方の声を聞き、それに答える体制が以前よりも整いつつあるのではないかと感じています。地域住民の安心安全な生活の確保のため、引き続き調査研究活動を続け、今後の動向に注視してまいりたいと思

委員長 宮内 英明

行財政改革特別委員会



9月7日、執行部から行財政計画の当面の課題について、合併後5年間で110人減員する計画に対し、計画を上回る136人の純減になる見込みであり、支所機能等の見直しを政策調整会議で検討中であり、10月に案を議会に報告し、地域審議会の意見を求める旨の報告がありました。

これに対して、委員からは、

- 現行の住民サービスを下下させないか。
- 職員の大幅減で、組織改編が必至なのはわかるが、定数管理の検証がなされているか
- 支所機能の縮小で、地域のアンテナが小さくなってしまおうのではないか
- 支所機能の見直し案

執行部からは、地域審議会や議会にも示し、意見を求めるのが求められます。

住民サービスが低下しないよう本庁に機能をどう移すかを検討している。

○ 案は地域審議会の意向もあるので最終案とは考えない。等の回答があり、委員側からも多くの意見が出され、活発な特別委員会でした。傍聴もあり、市民も高い関心を寄せており、引き続き調査活動を確